クリンソウ（サクラソウ 科）　　**兵庫県：Bランク**

Primula japonica A.Gray　　**環境省：－**

種の概要

山麓の湿地にはえ、山近くの人家によく栽培されている。地下茎は短く、分枝して株をつくる。葉は大型で根ぎわに群生し、やわらかく無毛で、裏面に腺状の細点が散らばる。葉身は倒卵状長楕円形で、長さ15-40cmになり、幅5-13cm、上部は円く、基部はしだいに狭まって柄状になり、ふつう赤みを帯び、縁は不ぞろいに多数の低3角状の歯牙があり、表面にしわが多い。5-6月、高さ40-80cmの無毛の花茎を伸ばし、2-5段に輪生して多数の花をつける。苞は線形。萼は狭い杯形で長さ6-8mm、花後わずかに伸び7-10mm、1/3ほどまで5裂し、裂片は狭3角形で先は細くとがる。花冠は紅紫色で花喉部は濃紅紫色、径2-2.5cm、筒部はやや細長く長さ1.5-1.7cm。

国内分布

北海道、本州、四国

県内分布

西播、東播、丹波

選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
○	○	○				○

特記事項

鹿の不嗜好植物で最近，東播磨や丹波で大きな群落が見つかっている。2009年版でＡランクからＢランクに変更。

保護上の留意点

生育地の保全